

ハシケ1

5
m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

VOL.

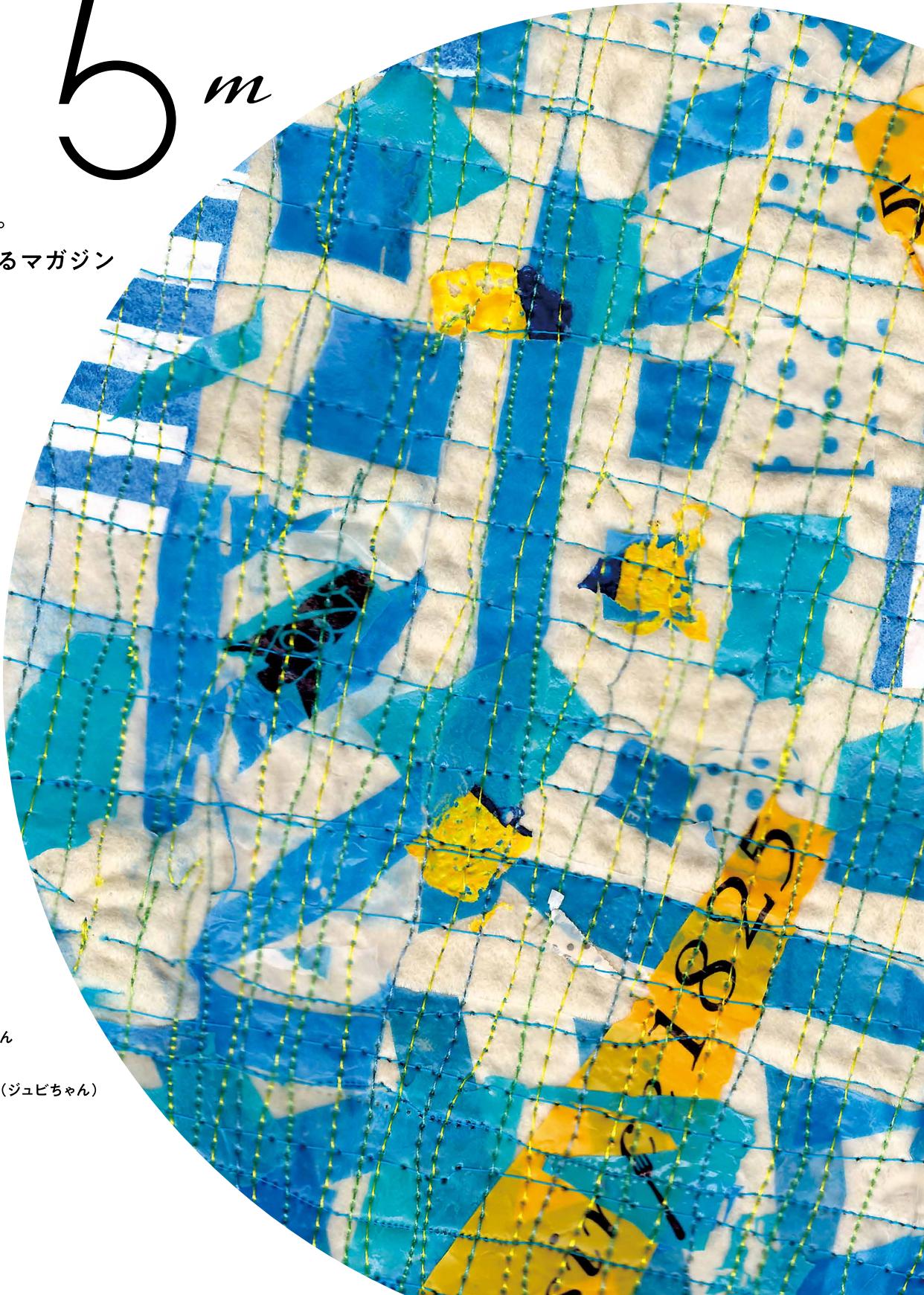
1

創刊

FEATURE

加藤千明さん

Juvichan (ジュビちゃん)



COVER ART OF HANKEI 5m

今号の表紙アート

厚手のフェルト生地に、
レジ袋などリユースの
プラスチックをアイロ
ンでプリント、その上
からミシンをかける。
(裏表紙は制作途中のもの)

「Petit Pinceau」のオリジナルファブリック

兵庫県神戸市で、アートによる就労支援を行なう、アートセンター叶。今号の表紙アートは、そこで立ち上がった商品企画開発プロダクション「Petit Pinceau」のオリジナルファブリックから。ハンディキャップを持つメンバーが独創性溢れる柄を作り、そこにプロのアーティストがミシン刺繡を施して完成する。この作品は、山内麻友美さんとアートティーチャーでテキスタイル作家の岡みちこさん、梅田香織さんによるものだ。

とても丁寧に作業をする山内さんは、これらの作品もそれぞれ1ヶ月以上かけて制作した。下書きのない一発勝負は、想像していたものと違う印象になることもある。しかし、その偶然から生まれる柄には、独特の可愛らしさが滲み出る。一人ひとりの無垢な感性のもとに、無限の可能性が広がっている。

「Petit Pinceau」のオリジナルファブリックを使用した雑貨は、こちらから購入できます！

ハンケイ 5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

CONTENTS

FEATURE

- 02 加藤千明さん
「盆略点前」の茶道を通し、
すべての人が暮らしやすい
社会の実現を目指す
- 06 Juvichan(ジュビちゃん)
LGBTQであることを公表した
京都市交響楽団コントラバス奏者
- 10 俊朗の映画話
- 11 ホホホのすすめ
- 13 ハンケイ 5m 創刊に寄せて



「ケアする手」は、小さいです。
でも、その小さい手が、
だれかのための、大きな力になると
私たちは信じています。

「ケアする手」で、幸せを届けます。



@adnurse_kyoto
Instagramで「ケアする手」を紹介中！
株式会社アドナース





田中賀鶴代先生のアシスタントとして「おもてなし」についての講演会をすることも多い。全国各地で盆略点前の魅力を発信している。

右から、加藤さんの茶道の師である田中賀鶴代先生、誰もが簡単に着られる着物を広める中野孝郎さん、その着付けを担当する田中美代子さん。家族のように和やかな雰囲気だ。



抹茶碗とアイシングクッキーは、どちらも女性造形作家・岡本彩さんが手がける「銀雪の里」のもの。「干菓子の代わりに、クッキーを選びました。お抹茶にもよく合います」と、加藤さん。愛らしいキツネの親子が秋のお月見を連想させる。



どうしても着たいから、
思い切って、浴衣を上下に切ったんです。

茶道で膨らむ夢、 多様な人とのコミュニケーション

和文化に親しみ、憧れを抱いて育った加藤さん。陶芸、着物、菓子など、茶道はさまざまな和文化が複合的に関わる。それぞれの文化を知れば知るほど、茶道の奥深さに心動かされるという。「茶道を楽しむために、茶室のことも知りたい」。加藤さんは京都の大学の通信講座で和風建築についても学んでいる。

「露地に配された飛び石や、あえて狭く作られたにじり口。茶室の随所に、茶の湯の心が息づいています。段差が多いから車椅子では行けないでしょう。でも自分でデザインした茶室なら車椅子でも行ける、と思つたのがきっかけです」。

自分のハンディを制約として捉えるか、創意工夫の出発点として考えるか——。自らハサミで裁ち切った浴衣が唯一無二の宝物になつたように、茶道を通した経験は、新しい世界を教えてくれる。加藤さんの次の目標は、「車椅子で山に登り、自然の中で『野点』」のお茶を楽しむことだ。

「正座の苦手な外国からの観光客や、足の不自由な高齢の方でも、気兼ねなくお茶を楽しんでもらいたい。車椅子だから気づいたのだとthought。誰にとっても楽しいお茶で、おもてなしできるのが、盆略点前のおばんの魅力です」。

加藤さんは今、茶道を通じて多様性という言葉を噛み締めているのだそう。テーブルで茶をもてなすことと、茶道に縁が無かつた多様な人たちとのつながり、ともに心豊かなひとときを味わえる。丁寧に差し出される彼女の一椀は、優しさと希望にあふれている。

くなり、車椅子での生活を始めたのは5歳の時。「体育の授業など、小学校の時から車椅子だとできないことが多かった。だからでしょうか、いつも何か工夫したらできるかな、と考えていました」と、振り返る。

加藤さんの創意工夫、チャレンジ精神を象徴するエピソードがある。中学生の夏、「浴衣を着たい」という願望にかられ、思い切ってハサミで上下に裁断してみたのだ。「もともと手先は器用だったので自信はあったんですけど。でも、どう縫えばいいかわからず……。祖母に手伝ってもらつて、車椅子でも着られるセパレートの浴衣に仕上げました。紺地にピンクの可愛い花柄で、今も大事に取っています」。

中学生の夏、「浴衣を着たい」という願望にかられ、思い切ってハサミで上下に裁断してみたのだ。「もともと手先は器用だったので自信はあったんですけど。でも、どう縫えばいいかわからず……。祖母に手伝つてもらつて、車椅子でも着られるセパレートの浴衣に仕上げました。紺地にピンクの可愛い花柄で、今も大事に取つています」。

「気づいたときから、自分のやりたいことを始めてみる。そうしたら、世界がどんどん広がった」

音楽への夢、現実の壁



2018年、円山公園野外音楽堂でのリハーサルの様子。
この日は、弦楽三重奏で演奏に参加した。

音楽に「愛」を託して
異能のコントラバス奏者、と呼ぶべきか。京都市交響楽団のメンバーとして活躍する一方、音楽動画のYouTube配信、人気ロックミュージシャンとのコラボレーション、さらには作曲家としての活動まで。まるで万華鏡のように多彩な音楽を創造するJuVi-chan（ジュビちゃん）について、語るべきことは数多い。

けれど、あえてひとつ言葉に集約するならば、それは「愛」ということになるのかもしれない。音楽を愛し、自分自身を愛し、今を生きるこの瞬間を愛すること。

自分の才能に、自分という人間に、気づいたその日から、愛を奏でるその旋律は、彼女の人生の歩み、そのものの響きになった。

音楽への夢、現実の壁

音楽の芽生えは、家にあったクラシックのレコード全集だった。

「小学校に上がるころには、ベートーヴェンの交響曲第5番をひと通り覚えたくらい、クラシックが大好きでした。生まれは神奈川県横浜市。小学5年の時、両親の故郷である広島県福

山市に転居。中学に入りブラスバンドでトランペットを始めた。

一方でユーミンやYMOなど、ポップ音楽に傾倒し、バンドを結成。エレキギターを持ち、「将来はポップミュージシャンになりたい」と夢を描くようになる。

高校では、当時ブームになっていたフュージョンにも影響された。夢を実現したいと、卒業後は東京の音楽専門学校へと進んだ。

「上京して、愕然としました。難易度が高いプロの楽曲を、同年代が完璧にやっているんです。とても敵わないと思いました」。彼女の差を目の当たりにして、夢は萎んだ。失意に暮れる中で、小さな偶然が訪れる。

自分の才能に、自分という人間に、気づいたその日から、愛を奏でるその旋律は、彼女の人生の歩み、そのものの響きになった。

花開く、才能との出会い
「友達が『要らなくなつたコントラバス、5万円で買わないか?』って。もちろん私は弾けないんだけど、家に飾つておいたらカッコいいなと思って。譲つてもらつたんです」。運命、かどうかは分からぬ。インテリアにしては高張り過ぎる、20歳を過ぎて、ジュビちゃんは、そんなふうにコントラバスと出会つた。

花開く、才能との出会い
「お前はプロの演奏家になれる」。わずか半年ほどの練習で、師事した先生から太鼓判を押され、大阪音楽大学に見事合格。入学早々、演奏の仕事の声がかかる。子ども向けのコンサートに始まり、大物歌手のバックバンド、オペラの舞台まで。呼ばれた先々の現場で必死に腕を磨く日々、仕事として、音楽を演奏する楽しさにのめり込んだ。4年まで通つた大学を中退。関西を拠点とする管弦楽団のオーディションに合格し、晴れてプロのコントラバス奏者としての人生を歩み始めた。

「違和感」としての気付き

夢は叶つた。順調にキャリアを重ね、気づけば40代のベテラン演奏家に。しかし、いつ頃からだろう。心の内に、違和感が膨らんでいた。



FEATURE 2

LGBTQであることを公表した
京都市交響楽団コントラバス奏者

Juvichan (ジュビちゃん)

ピンクと白の水玉の傘。
さしたときに、世界が変わった気がした。



自作動画を配信している「Juvichannel（ジュビチャンネル）」
は、演奏から練習アドバイスまで、その内容はバラエティに
富む。人気動画の再生回数は7.8万回を超えた！



これまでに発売したCD『音楽界の異端児』エリック・サ
ティの作品を収めた『Gymnopédiste（ジムノペディスト）』
(左)と、オリジナル楽曲集『にじいろのさんぽみち。』(右)



ある日、ふと目にしたピンクと白の水玉模様の傘に強く惹かれ、我慢できずに購入した。さした瞬間、満たされる思い。ジュビちゃんの中で何かが変わり始めた。

オーケストラではコンサートの時、男性の服装は燕尾服かタキシードと決まっている。「それがどうしても嫌で、着たくないんです」。強い拒否感が生まれ、病院に相談に訪れた。医師は「性同一性障害」と診断し、こう続けた。

「あなたがそうしたい、と思うだけのこと。それを隠す必要もない。あなたの自由にしたいんじゃない？」。

断し、こう続けた。

「あなたがそうしたい、と思うだけのこと。それを隠す必要もない。あなたの自由にしたいんじゃない？」。

いま、好きなことをする

LGBTQ（性的少数者）である、という事実を認めたジュビちゃん。そこから、自分らしく生きるための新たな日々が始まった。服装や髪型、容姿を変えていく過程は、周囲の人たちや両親との関係を再構築することでもあった。それは新しい世界の創造にも似た冒みだ。

自分を見てみよう。そんな思いから、5年前、YouTubeで動画配信を始めた。見せるのは音楽だけではなく、ジュビちゃんの日常。それがいいのか悪いのか、まったくわからない。手探りで迷いながら、とにかく自分を発信し続けた。

そんなとき、音大時代からの大切な友人が末期がんを患つたと知る。見舞いに行くと、思っていた以上に友人は弱っていた。手持ち無沙汰の友人宅で、自作の配信動画を見せてみた。金髪にフリルのついたピンクのドレス姿のジュビちゃんが、打ち込みのポップミュージックに合わせて、ハツラツと踊っているコメディだ。それを見て、元気がなかつた友人が、初めて笑ってくれたのだ。

「面白いと思う。人生なんて短いんやから。好きなことをやつたらええねん」。

その言葉が、ジュビちゃんの背中を押してくれた。

ひとと違うこと恐れずに。ありのままを愛し、自分の得意とすることを選び続けるならば、人生はもっと自由になる。それがいつからでもいい。

「気づいたときから、自分のやりたいこと、楽しいことをやる。そっちの方が、自分の世界がどんどん広がっていきます」。

いつだって今この瞬間が、新しい人生の始まりの日であるように。祝福に満ちた愛を、音楽に乗せて届け続ける。

年間100本映画を見る福山俊朗の映画コラム



Recommended Books

俊朗の映画話



福山 俊朗（俳優）

神戸大学在学中に劇団そとばこまちに入団、15年間で籍をフリーに。170本以上の舞台に出演、テレビ・映画出演も多数。2014年、演劇ユニット「はひふのか」を結成。その他にもFMラジオのDJ、歌のお兄さん、落語、クラシックコンサートのMC、映画監督、などマルチに活躍中。

映画を見ていると、以前に比べて物語の中にLGBTQの人たちがよく登場するようになったことに気づきました。クラスメイトだったり、職場の同僚であったり、兄弟や親せきであったり。しかし、そのセクシュアリティが映画のテーマになっていないことも多く、LGBTQの人は脇役で、ただその世界に存在している。それだけ「LGBTQの人たちは珍しくない」という感覚が社会的に広がってきているんじゃないか、と感じています。

とはいって、今回紹介する映画は両方とも、がつかりその人たちが主人公になっている作品です。一本目は二大実力派俳優がゲイのカップルを演じた『スーパー・ノーヴァ』（2020年）。ピアニストのサム（コリン・ファース）と作家のタスカー（スタンリー・トゥッチ）は20年来のパートナーで、安定した幸せを築いてきました。しかしタスカーや認知症を患っていて、近い将来、彼は愛するサムのことさえ分からなく

なってしまう。それでも最期まで添い遂げようとするサムと、そうなる前に別離を望むタスカーの切ない愛の行方が描かれます。

私はこの映画を見て、とても新鮮な感覚を覚えました。それはこの2人が男女のカップルとまったく同じ描かれ方をしていて、つまりはなんの特異性も感じられなかったからです。普通の（という言葉 자체がもう何が何だかわからん）マジョリティの男女の夫婦がこういった問題に直面する物語はいくらでもあるでしょう。この映画はその2人がたまたまゲイのカップルに置き換えられただけで、そこにゲイとしての葛藤はほぼ描かれていません。2人はサムの実家で家族や友人たちと楽しい時間を過ごします。そこには2人がゲイだからと言って揶揄する人はいません。もう何十年も家族として友人としてタスカーはそこで過ごす時間を過ごしていることがわかります。

それでもう一本、手前みそながら紹介させていただきますのは、不肖私が監督・出演しております『Moonlight Club THE MOVIE』。これは場末の『スーパー・ノーヴァ Supernova』2020/イギリス/95分 監督:ハリー・マックイーン

そしてもう一本、手前みそながら『月夜のショーパブ』（Moonlight Club）で働く踊り子の「ひろ美」と「しゅん子」、そして2人と仲良しの蕎麦屋の女将「さつちゃん」の友情物語です。このゲイのカップルを主人公に据えて、ここまでセクシュアリティのことをテーマにしない映画を見たのは初めてかもしれません。これはとてもとても素晴らしいことで、人としては何も変わらないということを無意識に認識させてくれる映画でした。実際の社会でもこの映画の感覚が主流になればと願うばかりです。



スーパー・ノーヴァ
Supernova

2020/イギリス/95分
監督:ハリー・マックイーン



ムーンライトクラブ ザ ムービー
Moonlight Club THE MOVIE

2021/日本/60分
監督:福山俊朗

Recommended Books

ホホホのすすめ



ホホホ座名物店主が語る
おすすめブックス



ガケ書房の頃 完全版
山下賢二著
ちくま文庫 880円(税込)



山下 賢二（ホホホ座店主）

21歳の頃、友人と写真雑誌「ハイキーン」を創刊。その後出版社にて雑誌編集に携わり、書店での店長経験を経て、2004年に「ガケ書房」をオープン。2015年「ガケ書房」を移転、改名し「ホホホ座」をオープン。本屋であり雑貨屋でありお土産屋でもあるというユニークなお店の形態が話題を呼ぶ。

はじめまして。京都市左京区でホホホ座浄土寺店という「やけに本が多いお土産屋」を営んでおります山下と申します。第一回となる今回は「挨拶代わりに、丁度、7月と8月に出了た僕の手掛けた本をご紹介させていただきます。

まずは、この方の誕生日となる7月16日に発行された『喫茶店で松本隆さんから聞いたこと』（夏葉社）という本。タイトル通り、僕が作詞家の松本隆さんに京都の4つの喫茶店で話してもらったことをまとめたものです。こ

れを聞いています。
例えば、「孤独について」とか「才能について」とか「SNSについて」とか。普通の人生とは違うたくさんの酸いも甘いも経験してきた松本さんの定義がここに印字されています。

もう一冊は、元々、先ほどの本と同じ夏葉社から出でていたのですが、このたび文庫化されました。タイトルは『ガケ書房の頃 完全版』（ちくま文庫）。僕は以前、ガケ書房という外観が印象

的な書店を営んでいました。話は筆談の本は、これまでたくさんの中でも語られてきたお決まりの「昔話」ではなく、72歳となった松本さんの現在の考え方を聞いています。

例え、「孤独について」とか「才能について」とか「SNSについて」とか。普通の人生とは違うたくさんの酸いも甘いも経験してきた松本さんの定義がここに印字されています。

ホホホ座浄土寺店
京都市左京区浄土寺馬場町71 ハイネストビル1F
営業時間 11:00～19:00(無休)
TEL 075-741-6501
<http://hohohoza.com>



場末のショーパブ
「Moonlight Club」ではじまる、
ひろ美としゅん子とサチエの物語。
10.9 SAT 10 SUN
上映:京都みなみ会館 1日2回上映

※上映時間は京都みなみ会館のHPにてご確認ください。
9/1(水)～チケット予約販売中!
【京都みなみ会館 HP】 <https://kyoto-minamikaikan.jp/>



ハンケイ
5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

創刊に
寄せて

改めて自分のハンケイ5mを眺めてみました。
誰かに紹介したくなる人でいっぱいでした。

鎌田智広(スペシャルアドバイザー)

ハンケイ
5m
vol.1

2021年9月13日発行

発行 株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
075-754-6174

株式会社union.a
京都市左京区北白川西平井町22-2
075-724-0410

企画・制作 株式会社union.a

Staff 円城新子
吳玲奈
山田梨世
龍太郎
辻正美
北原靖浩
DesignMINUTE
もりはなぐみ

スペシャルアドバイザー 鎌田智広

Quatre SAISONS Juvichan2021

日程 10月20日(水)
19時開演(18時開場)
会場 京都市北文化会館

8月30日開催予定だった同公演。京都府緊急事態宣言下の公演延期要請を受け、10月20日に延期開催が決定しました！



チケット購入 チケットぴあ [Pコード] 203705 / JEUGIA APEX 075-254-3750
主催・お問い合わせ 株式会社 宮部企画 075-432-7313 <https://miyabekikaku.com/>

ハンケイ 5m 設置・サポーター募集について

『ハンケイ 5m』創刊に際し、もっと多くの手に取っていただけるよう新規設置場所を随時募集しています。また、『ハンケイ 5m』の価値観に賛同してくれるサポーターの方も募集しています。

設置について・サポーターについては、info@hankei500.comまでメールでご連絡ください。



掲載データは、2021年9月現在のものです。あらかじめご了承ください。本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転用を禁じます。Copyright©2021 ADNURSE Corp.・union.a Corp. All rights reserved.

自分の極近くに、あふれている希望と挑戦。
触れてみたら、勇気がでました。

円城新子(編集)

大切なものは近くにあるのに、
いつも見逃してしまうんだ。

吳玲奈(編集)

先入観があったとしても、
触れて知って、そうなんだ！と気づいたら
それで良いのだと思う。

山田梨世(編集)

半径5mの輪をつないだ先に、
どんな景色が待っているのか。
日常こそ冒険。今を生きるひとを巡る、
スロウな旅の始まりです。

龍太郎(ライター)

『人生で最も重要な日を二つ挙げるなら、
それは生まれた日と、その理由を見いだした日だ』。
マーク・トウェインの言葉を改めて感じた取材でした。

辻正美(カメラ)

本誌を通して様々な人の想いや
チャレンジを知れるのが楽しみです。

北原靖浩(デザイン)

加藤さんとJuvichanのまばゆさは、
無二のオリジナリティを摸索中の
あらゆる人を道引く光だと思いました。

森 華(デザイン)

ハンケイ5mで社会の見方が変わる
きっかけや、気づきにつながると
良いなと思いました。

DesignMINUTE(デザイン)

フリーマガジン 自分たちの足で見つけた、オリジナルな情報。本物を知る「京都人」のためのフリーマガジン。

ハンケイ500m

昔から京都の本物を支えてきたのは、伝統的な職人の技。そんな京都の土壤における「職人」というキーワードに着目し、独自の哲学・こだわりを持った現代の「職人」を、ひとつのバス停から半径500mに限定して、じっくり探索。そこで再発見した「京都らしさ」を、皆様にお届けします！

京都市地下鉄全駅、京都市内各所にて絶賛配布中！

バックナンバーは www.hankei500.com

毎奇数月 10日発刊



ハンケイ 500m公式Twitter
[@hankei500](https://twitter.com/hankei500)

ラジオ 『ハンケイ500m』のこぼれ話が聴けるラジオ。

ハンケイ500m × KBS京都Radio

サウンド版 ハンケイ500m

KBS京都Radio
FM 94.9
AM 1143

▶▶▶ PodcastでMP3をダウンロード ▶▶▶
▶▶▶ radikoまたはラジオで聞く
KBS京都ラジオ 毎週土曜17:00～18:00



フリーマガジン 『ハンケイ500m』がつくる就職情報誌。

おっちゃんとおばちゃん



年4回発行(5月、8月、11月、2月) / A4
4変形判 / オールカラー / 関西一円の
大学、ハローワーク、その他で配布

おっちゃんとおばちゃん 検索
<https://occhan-obachan.com>

本誌『ハンケイ500m』を発行するユニオン・エーが手がける、若者向けの就職情報誌『おっちゃんとおばちゃん』。おかげさまで創刊して6年が経過。「いい人材に出会えた」と好評をいただいています。

その理由は、『ハンケイ500m』のノウハウを駆使した、掲載企業の徹底取材にあります。大学生や求職中の若者が「本気で人生を賭けたくなる」、心に響く誌面を追求しています。得てして、自社の魅力は、経営者ご自身はわかっていないもの。第三者であるユニオン・エーが客観的な目線で書くからこそ、生まれる説得力を大切にしています。

社長の仕事観、社員の実感値。企業が目指すべき道筋を、今どきの若者に刺さる言葉に変換して伝えます。取材を通じ、自社の強みを再発見したという採用担当者の声も寄せられます。

WEB 京都に根差した情報誌×新聞社による新しいWEBメディア。

ハンケイ500m × 京都新聞

ハンケイ京都新聞

「京都らしさ」とは、
何だろうか。






ADNURSE

 *union.a*